

# 令和 7 年度 sakura 保育園

## とうきょう すくわくプログラム 活動報告書②

園名	sakura 保育園
活動②	2025 年 12 月18日
活動クラス	全クラス 0・1・2 歳児クラス
年間のテーマ	音

### 1. 活動のテーマ

〈テーマ〉 音

〈テーマの設定理由〉

・日頃から音に興味を持つ姿がみられるため、音に関する好奇心・探究心を更に伸ばしていきたいと思った。

### 2. ねらい

- ・子どもたちの「伸びる・育つ」と「好奇心・探究心」を応援する。
- ・子どもたちが自分で考え行動し、自ら答えを見つける力を養う。
- ・子どもたちが自分自身のアイデンティティを形成し他者との共生を学ぶ。
- ・実生活で役立つスキルを身に付けていく。

### 3. 活動スケジュール 〈10～12 月〉

#### ① 12月18日 「手作りマラカス製作」

- ・子ども達の身近にある素材を使用し手作りマラカスを作る。
- ・時には大人が声掛けをしながら、子どもの反応をよく観察し共感していく。
- ・遊びの中で子どもが音を感じて遊び、探求している姿を写真におさめる。
- ・昼礼・週案・月会議にて、子どもの遊びの様子や反応、気付きを共有する。
- ・活動内容の成果と評価を写真と共に記録に残していく。

## ② 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・米、小豆、マカロニ、鈴、ビーズ、ガチャガチャ容器
- ・それぞれの素材が入ったマラカス(見本)で遊べるように設定する。
- ・容器を開けて中に何が入っているか見たり触ったりできるように設ける。
- ・それぞれの素材を紙皿に入れて、自由に選び容器の中に入れて好きに音を鳴らしながらマラカス作りをする。

## 4.探求活動の実践 〈活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

- ・好きな色のカプセルを選び、振って音を鳴らして楽しんでいた。
- 中に何が入っているかを2才児が興味を持ち、開けてみる。
- カプセルの中に自分の好きなパーツを入れると組み合わせでたくさん入れて振り、「重たい音がする」と言ったり、素材を1つだけ入れて軽い音の違いを楽しんでいた。
- ・次から次へとカプセルに手を伸ばして中の音を聞こうとする姿があった。
- ・中身を開けると夢中になって触っていた。
- ・鈴を耳元へ持っていき音を鳴らして聞いている。
- ・子ども達が真剣に取り組む姿がみられた。
- ・別々の素材を混ぜ合わせている。
- ・「ざらざら」などと音だけでなく感触もオノマトペで表現する。
- ・作る素材の中に米が無い事に気が付くと「お米も入れたら楽しいんじゃない？」と提案する姿がある。
- ・「紫みたい」と音を色で表す姿がある。
- ・マカロニは食べる真似をしている。
- ・0歳児も集中しており、口に入れることなく取り組み飽きずに行うことができていた。
- ・マラカスを振るだけでなく太鼓のように叩く姿がある。

【活動の様子】





## 5.振り返り 〈1～3月の活動について考える〉

- ・人数も少なく保育者の目も足りていたと思う。小さいパーツが多かったので開ける前に口に入れない事を伝えると良かった。自分で作ったマラカスが完成したら音楽に合わせて音を出してみたり、友だち同士でマラカスを交換して音の違いを楽しんでみる。
- ・とても集中して取り組む事ができていた。
- ・米や小豆、マカロニなど子ども達にとっては身近にはあるが、実際に触れる機会があまり無い食材を使用したことでより興味を持つことが出来ていた。新鮮でよかった。
- ・作ったマラカスで演奏会などを設けてみるのもいいと思った。
- ・職員が多い日に実行する。
- ・活動時間が短く子ども達が物足りなさそうにしていたので十分に取り組む事ができるような時間を多くとる。
- ・マラカスを振るだけでなく、叩いたりする姿もあることから別の楽器も作ってみてもよいと感じた。
- ・音と感触、音と色など音からイメージして行える活動を行ってみたい。
- ・広げて観察できるようにスペースを設けてもいい。
- ・購入物を使用して活動を行っていく。  
(プロジェクター、玩具、iPad など)